



新年に思うこと

昨日北京から帰って来ました。びっくりしたのは、北京の空気の事です。毎年冬になると北京の空は太陽がほとんど見えず、ずっと霧のような天気です。しかし今年は毎日青い空が見えていました。爽やかな天気でした。偶然昨夜日本のニュース番組で、北京の空気について報道していました。それによると、今年の北京の大気汚染の程度は、昨年より35%も改善したそうです。やはり政府の決意は強かった。他人事ではなく、自分たちも住んでいる町ですから。

さて、今年も私たち日中文化協会が参加した『名古屋中国春節祭』は盛大に行われました。規模は年々拡大して、この地方に住む中国人の方は勿論、沢山の日本人の方々も遊びに来られました。実際に中国の文化に触れたり、買い物を楽しんだり、食事をするテーブルを挟んで知らない人同士が話をする場面も見られました。これはまさしく真の民間友好交流です。

今年は日中平和友好条約締結から四十年の節目です。日中の新たな扉を開いたピンポン外交の地で開催されるこんなに盛大な日中民間友好のイベントは、とても意味のあることではないでしょうか。三日間の来場人数は昨年の14万人を超え、約15万人の方が訪れて下さり、本場の中国料理や、舞踏、雑技などを楽しんで頂きました。名古屋市河村市長も二日目の午後、会場を訪れて下さいました。中国の屋台料理を食べたり、中国人と写真を撮ったりして、三時間も滞在され

ました。数年前に「南京大虐殺はなかったのではないか」との発言がきっかけで、名古屋市と南京市の公の交流は2012年から止まったままでした。祭りに来られた事は、その状況を改善したいと思っておられるのではないのでしょうか。

1971年、名古屋を舞台に展開された「ピンポン外交」は「小さな白球が地球を動かした」とまで言われる大きな出来事です。当時の日本卓球協会会長だった後藤鉦二・愛知工業大学学長が困難を乗り越え、名古屋へ中国卓球チームを招きました。その努力が米中関係の緊張緩和につながり、72年には日中の国交も正常化しました。そこから見ると、今の平昌冬のオリンピックに北朝鮮が参加することは、朝鮮半島の平和だけでなく、東アジアの平和と米朝関係の緊張緩和にもつながるのではないのでしょうか。

日中関係はようやく改善の兆しが見えてきましたが、歴史を振り返るとその原点はピンポン外交にあるともいえます。中部地方に暮らす私たちは平和友好条約締結40年の節目に、その重みをもう一度かみしめ、平和共存できる未来を考えてみるべきではないでしょうか。

最後に、春節祭の為に一生懸命働いていただいた会員の方々に感謝の気持ちを申し上げます。謝謝大家！

唐啓山

春節祭報告

1月6日～1月8日の第12回名古屋中国春節祭に日中文化協会のブースを出しました。



春節祭は今年も大盛況でした。久屋広場、エンゼル広場ともに大勢の人たちで賑わっていました。



日中文化協会ブースには多くの人たちが訪れました。写真は名古屋おもてなし武将隊の前田利家との記念撮影です。

エンゼル広場の日中文化協会ブースです。エンゼル広場には、カレーやたこやき、クレープにトルコケバブと、屋台のお店も様々でした。



7日の午後には、チャンピンさんの二胡演奏団も登場しました。二胡の優しい音色に誘われて、大勢の人たちがステージに詰めかけました。



久屋広場には、延辺館や刀削麺など、中国料理のお店がたくさん出ていました。食事スペースは広がったのですが、それでも足りないくらいでした。



今回の売上は73,900円で、利益は65,900円でした。皆さん、ありがとうございました！

天命の子～趙氏孤児

サブタイトルの「趙氏孤児」というのはとても有名なお話で、映画やドラマがいくつも制作されています。今回ご紹介する「天命の子」は、2013年に制作されたもので比較的新しく、レンタルショップでも簡単に見つけることができます。

物語は紀元前600年ごろの春秋時代・晋の国で、政敵の屠岸賈（とがんこ）の策略によって一族皆殺しになった趙家を、趙朔（ちょうさく）の息子・趙武（ちょうぶ）が再興す

るといふものです。

趙家再興の物語ですが、主人公となるのは趙朔の食客である、医者程嬰（ていえい）です。程嬰は恩義のある趙朔を助けて屠岸賈と対立し、趙朔の死後は屠岸賈に従うふりをしながら、密かに助け出していた趙武を自分の子として育て、趙家再興の機会を待ちます。

屠岸賈には忠誠心を疑われ、昔の仲間には裏切者として忌み嫌われ、途中、何度も危機に見舞われるので

すが、数少ない味方たちの助けと、程嬰の知恵で乗り越えて行きます。屠岸賈と程嬰の騙し合いは、いつも紙一重の勝負となり、最後の最後まで目が離せません。



成語故事コーナー

zhǐ lù wéi mǎ

指鹿为马（鹿を指して馬と為す）

秦の始皇帝が死んだ後、趙高が宰相になりました。趙高は宰相でありながら、実は皇帝の座を狙っていました。しかし、秦の重臣たちの何人が自分の味方をするのか分かりませんでした。

あるとき、趙高はひとつの方法を思い付きました。趙高は朝議に鹿を連れてきて、その鹿を指しながら二代目の皇帝に向かって言いました。「陛下。私からこの名馬を献上いたします。」

間違っただけを無理やり押し通すという意味ですが、なかなか酷いお話です。趙高は奸臣として有名で、秦に仕えていました。これは紀元前207年ごろのことです。

皇帝は言いました。

「宰相、それは違うぞ。馬ではなく鹿ではないか。」

趙高はなおも続けます。

「よくご覧ください。これは鹿ではなく馬でございます。」

皇帝は小声で尋ねました。

「それが誠に馬ならば、なぜ頭に角が生えているのだ？」

そこで趙高は重臣たちに向き直り、大きな声で言いました。

「君たち、これが鹿に見えるか？そ

この直後、秦の国は項羽と劉邦によって滅ぼされてしまいます。500年以上の歴史を持つ秦の国ですが、中国統一を果たしてから、たったの二代で終わることになりました。宰

れとも馬に見えるか？」

重臣たちは趙高の意図を察しました。そして、趙高の味方をする重臣たちは馬に見えると答え、皇帝の味方をする重臣たちは鹿と答えました。それ以外の大半の重臣たちは無言のままでした。

その後、鹿と答えた重臣たちは、何かと理由を付けて殺されてしまいました。

相がこんなことをしてるようでは当然の結果なのかもしれせん。



漢方教室 85 中高年の味方、糖鎖

【糖鎖とは？】

糖鎖（とうさ）とは、各細胞の表面についている鎖状の物質で、核酸、たんぱく質について「第三の生体物質」と呼ばれており、私たちの健康維持に必要な成分です。

糖鎖は、8つの糖質栄養素（単糖類）の複雑な組み合わせで出来ていて、そのうちのグルコース（ブドウ糖）とガラクトース（乳糖）の2つは食品から摂ることが出来ますが、あとの6つは殆ど食品から摂ることは出来ません。

【多くの病気は細胞の異常から】

現在の殆どの病気は、「細胞同士が

つながってない、連絡し合っていないことが最大の原因」と言う事が最近の研究で明らかになっ

て来ました。自然治癒力や免疫力が十分に働いていれば病気になる可能性を減らすことができます。その為には、細胞同士がすべてつながっている必要があるのです。そしてそれを担っているのが「糖鎖」なのです。

【日本安恵糖鎖】

安恵の糖鎖は、食事だけではとりにくい糖鎖栄養素を、理想的な形で



補うサプリメントです。さらに糖鎖の働きをよくするビタミンB・Cや若々しさに役立つコエンザイムQ10、DHA、カルシウムなどをプラス配合。もちろん防腐剤・着色料・保存料などの添加物は使用せず、安心してご利用いただけます。



ご興味のある方は、052-242-3930まで。中統ビル3階 日本安恵株式会社

中国からの引き揚げ—思い出すがままに⑧

引揚げ船は、鴨緑江河岸に数隻停泊していました。帆のついた木造船です。乗船前夜、埠頭の倉庫で一夜を過ごすことになりました。乗船前の持ち物検査も終わり、ホッとしたところで、引揚げ者の慰安の意味もあってか、演芸会が催されました。内容は忘れましたが、日本人の劇団員が、歌や劇を演じてくれました。この劇団の中に、ひょっとして戦後の日本で活躍された方がいたかも分かりません。人づてに聞いた話では、映画、テレビで活躍された芦田伸介さんもこの丹東（元安東）におられた時期があったということですから。

丹東（元安東）にご縁のある著名人には、吉田茂元首相がいらっしゃいます。昭和初期、丹東の領事館に外交官として勤務されていました。また三重野日銀総裁時に副総裁として補佐しておられた藤原作弥氏も少年時代満州奥地から避難される途次、丹東にしばらく滞在しておられました。その時のようすが、藤原氏の著作「満州、少国民の戦記」に詳しく書かれています。

さて、引揚げ船、乗船に至るところで随分横道にそれましたが、倉庫での演芸会の翌日の夕方、父母、叔母2人、子ども5人、除隊兵だか脱走兵だかよく分からない素姓の人2人、総勢11人。ほかの家族が5家族くらいいたでしょう。南朝鮮の西岸の港目指して出港しました。

杉本克治

1月誕生日の人の言葉

94歳の母が骨折で入院しました。腎臓機能が低下し回復は絶望的ですが、イケメンのスタッフやら医師が声掛けしてくださるので生き返りました。幾つになってもトキメキは必要なんですよ！皆さん！ 後藤静枝

AI囲碁

近年AIの発展は著しく、一昔前までは囲碁対戦でAIが人間に勝つのは難しいとされていましたが、今では人間に勝ち目がないほどの強さになりました。これは、AIが人間には不可能な量の経験を蓄積し、学習する機能を得たためです。

同じ技術を用いた市販の囲碁ソフトを買ってみたのですが、私では一生勝てそうにない強さです。日中文化協会に寄付しましたので、囲碁がお好きな方は試しに一局打ってみてください！

耕



「世界の瓷都・景德鎮生活を総括して」②

～景德鎮陶瓷（とうじ）大学教授として、8年半にも亘る駐在生活から感じたことは～

景德鎮陶瓷大学(赴任時の名称は景德鎮陶瓷学院、3年前に昇格して現名称となる)は中国国内大学では唯一、「陶瓷(とうじ)」という文字を冠に掲げる陶磁器専門大学が発祥である。1910年、中国陶業学堂という名称で出発した。現在、創立106年という伝統大学である。現在は学部生13671人、大学院生1013人、海外留学生年間約100人・13カ国、教員数1250人。教授の中には日本でいう人間国宝クラスが26人、大学教育に携わっている。この人間国宝クラスの教員は「景德鎮学派」と称されて、在野の人と区別された集団が形成されている。教員数に占める博士比は20.07%。現在の学部は7学部・46専攻。各学部は伝統の美術学部から、材料工学部・設計学部・電子科学技術学部・応用経済学部・外語学部・体育学部などからなる総合大学として、江西省内でも特色ある国立大学として、評価は大である。全国から日本

同様のセンター試験(学考試験)で受験生が応募する。特に陶磁器関係の伝統大学として、受験生の羨望の的となっている。

陶芸関係学部は昨年の入学倍率は約8倍と聞く。卒業生は100余年で中国全土に約10万人おり、中国国内の陶業界・陶芸界のけん引役を担っている。就職率も伝統の美術学部(陶芸・陶磁器デザイン・材料学・芸術学・考古学・環境陶芸・彫塑)は、今年は90%と聞く。私は陶芸専攻クラス、陶磁器デザインクラスの学部生を担当して、日本陶芸の技術・技能付与に関わることとなった。各クラスは30人で、通常2クラス編成である。日本の美大・芸大同様に、受験対策を綿密にこなして入学するのは、比率として多く合格するのは女子が多い。しかし、卒業時の就職が大変困難なのは女子である。女子学生は教員や公務員を志望する傾向が強く、志望職業に合格するのは難関

である。これは日本も同様かど。卒業して陶芸家として起業する男子学生も多く散見する。大変学習意欲があり、夏休みも帰省しないで市内にとどまり作陶し、陶器市などに出して自信をつけて3年ぐらいで独立する。また最近の中国では、拝金主義から精神の豊かさを求める傾向も強くなり、中国全土で「陶芸教室」も多く存在して来ている。卒業生はその教室の指導員として活躍している。今年の卒業生で私が何度も担当した北京出身の学生が、自分の陶歴に私に師事したと書いて喧伝して記載していた。これは私の赴任8年半の一つの成果として実を結んだものと、感慨深いものがある。

景德鎮陶瓷大学元教授
二十歩(にじゅうぶ) 文雄

お知らせ

★2月例会

2月の月例会は春節祝賀会です。

★JCCA 中国語サロン

日時：2月3日（土）17日（土）14：30～

★日本語広場

日時：2月13日（火）14：30～

★3月例会

日時：3月6日（火）18：00～

★会員旅行<のんびり満喫 in 武漢・信陽・句容>

参加費：申込金 30,000 円＋旅行費 138,000 円

締め切り：2月5日（月）＜最低催行人数 10 名＞

旅行説明会：2月6日（火）16：00～

※春節祝賀会の前に中統奨学館ビルにて行います。

<のんびり満喫 in 武漢・信陽・句容>の日程

- 3月19日（月） 中部空港（現地集合）
↓
上海（経由）
↓
武漢空港（武漢宿泊）
- 3月20日（火） 武漢バス観光
（武漢長江大橋、黄鶴楼）
↓
信陽（信陽宿泊）
- 3月21日（水）～3月22日（木）
信陽市内バス観光
信陽師範大学と交流、説明会
（信陽2泊）
- 3月23日（金） 信陽
↓
武漢・南京
↓
句容
（句容バス観光・句容宿泊）
- 3月24日（土） 句容バス観光
ワニ園バス観光
↓
紫清湖温泉村（宿泊）
- 3月25日（日） 南京空港
↓
上海（経由）
↓
中部空港（現地解散）

旅費は、航空券・新幹線・ホテル・食事・バス
レンタカー・観光地入場料を含みます。
旅行保険は別料金になります。

春節祝賀会

日時：2月6日（火）18：00～20：30

（17：30 受付開始）

場所：延辺館

名古屋市中区新栄 1-25-5

TEL：052-242-3130

会費：一般 5,000 円 留学生 1,000 円



東海日中関係学会

2017年度 第3回公開研究会・祝賀会

日時：1月27日（土）14：00 開会（受付開始 13：40～）

会場：中統奨学館ビル 4階

名古屋市中区栄 4丁目 16番 29号

TEL：052-242-0979

公開研究会：14：00～17：00

賀詞交歓会：17：00～18：30（会場内にて）

研究発表

I 「中国経済の新時代」

発表者：真家陽一氏

（名古屋外国語大学教授、当学会理事）

II 「中国人民元の動向と日系企業の人民元取引」

発表者：下村登美夫氏

（株式会社名古屋銀行法人営業部国際
ビジネス推進室長、当学会会員）

研究会参加費：一般 1,000 円、学生 500 円、東海日中
関係学会会員・日中文化協会会員無料

賀詞交歓会費：1,000 円

お問合わせ先：東海日中関係学会事務局

TEL052-551-3101

株式会社ハヤカワカンパニー内

編集局

編集局では現在、携帯電話番号、生年月日、E-Mail アドレスのご登録を推奨しています。イベントのご案内、「誕生日の人の言葉」の掲載、WEB サイト更新の通知などに使用致します。china@chuto.co.jp 宛にご送付ください。ニュースレターは、WEB サイトにてカラー版を公開しています。郵送不要の方は「郵送不要」とご連絡ください。



〒460-0008 名古屋市中区栄 4-16-29 中統奨学館

TEL：052-262-1410 FAX：052-262-5036

一般社団法人日中文化協会

編集長 上山耕治